

---

◎2014/12/10 東京医科歯科大学テニュアトラック中間評価審査委員会を開催しました

---

12月10日（水）、平成24年度採用のテニュアトラック教員（以下TT教員）2名の中間評価が実施されました。

【中間評価】

5年間のテニュアトラック期間中の3年目までの適切な時期にTT教員の業績を評価する。公正かつ透明性の高い審査を行うため、実施機関外（海外を含む）の第三者を含む審査委員による評価と助言を行う。

当日、鈴木仁美TT助教と大石由美子TT准教授の書面とプレゼンテーションをもとに、ヒアリングが行われました。

鈴木仁美TT教員からは「哺乳類卵巣における原始卵胞活性化制御機構の解析」についての発表がありました。

大石由美子TT教員からは「免疫系と代謝系の多次元連携の観点に基づく生活習慣病の分子機構の解明」についての発表がありました。



〈 大石由美子 TT 准教授 〉



〈 鈴木仁美 TT 助教 〉

今回、2人とも女性研究者であり、特に研究と育児（ライフイベント）を両立させている大石先生の発表時には、子育て中の女性研究者支援についてもふれた議論が交わされました。

本学、女性支援専門委員会の委員長でもある井関委員からは、大学で子育て支援など女性研究者の支援をもっと充実していくべきとの意見が述べられました。